

評価項目	視点	評価概要
今年度の出水時濁度の状況	出水時の濁度の時間変化 (現地調査)	・出水時初期の濁度において、瀬戸石ダム下流と道の駅坂本の濁度(自動計)及びSSの関係に着目し整理したが、<u>両地点はほぼ同じ変化状態を示していたため、ダム貯水池の堆積土砂の影響は特に見られなかった</u>と考えられる。ただし、濁度の自動計と室内分析は少し異なる挙動を示した。 ・出水時の粒度組成は、3地点ともに60%代表粒径が概ね$6\sim 20\mu\text{m}$、また粒径加積曲線の傾きもほぼ同じであることから、<u>ダム貯水池の堆積土砂の影響は特に見られなかった</u>と考えられる。

出水時調査結果【平成23年度】(平成23年9月20日～21日)

